

(農)上直江ファーム 島根県出雲市斐川町 (平成26年1月設立 組合員46戸)

基本情報

- ・【気候】日本海側気候。冬は沿岸部に比べ、内陸部は寒い。
- ・【土質】壤～砂質
- ・【従事人数】38名
- ・【臨時雇用】なし

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	17.3ha	50.9a
主食用米(直播)	5.1ha	63.5a
麦類	13.6ha	61.8a
大豆	13.6ha	61.8a

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 2年3作体系で水稲、麦、大豆の栽培のほか、玉葱・キャベツなど園芸作物にも取り組む
- ・ 収量は、水稲:550kg/10a、麦類:97kg/10a、大豆:200kg/10a
- ・ 水稲の一等米比率は80%以上を確保
- ・ 水稲作付けほ場一筆の平均面積は53a
- ・ 省力化につながる機械を積極的に導入
- ・ 堆肥や土づくり肥料(ミネラルGなど)施用による積極的な土づくり

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- ・ 肥料
移植栽培については側条施肥を実施
- ・ 農薬
① カメムシ防除剤として投げ込み剤の使用による省力化
② 外部委託による「無人ヘリ防除」の実施
- ・ 機械
「きぬむすめ」で水稲直播機を活用した直播栽培を取組中(収量は移植に比べ、5%程度高い)

導入効果

- ・ 施肥
労働時間 ▲約2.5割
(全層施肥との比較)
- ・ 農薬(投げ込み剤)
労働時間 ▲約7割
(動力散布機との比較)
- ・ 機械(直播)
労働コスト ▲約2割
労働時間 ▲約8割
(移植栽培との比較)

支援体制

- ・ 斐川町農林事務局によるバックアップ
(県、NOSAI、斐川支所、農業委員会、農業公社、土地改良区、JAで構成。担い手への各種支援を実施。)
- ・ JALしまね斐川地区本部水稲直播部会にて、種子についてカルパーコーティング実施

課題・今後の目標

- ・ 水稲直播面積のさらなる拡大
- ・ 管理作業を機械に代替できる部分について積極的な検討
- ・ コスト低減につながる資材の試験実施(流し込み肥料等)
- ・ 継続的な土づくりの実施



直播機での播種作業の様子